

自律・協働・参画



# 笹塚中だより

渋谷区立 笹塚 中学校 (令和2年10月8日発行)

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/sasadukaj>



2020 Ig Nobel Prizes から「探究」するということについて考える

校長 駒崎 彰一

「人々を笑顔に、そして考えさせてくれる業績」に対して贈られる「イグノーベル賞」。

ノーベル賞のパロディとして1991年、雑誌編集者で会社経営者(当時)のマーク・エイブラハムズ氏によって創設されました。「下品な」とか「不名誉な」を意味する「ignoble」と「ノーベル(Nobel)賞」をかけ合わせた駄洒落で「イグノーベル(Ig Nobel)」と名付けたと言われています。とても素敵な賞であると感じています。

先月18日に「イグノーベル賞」の2020年度受賞研究が発表され授賞式が挙行されました。授賞式はいつもならハーバード大学のサンダースシアターで行なわれ、紙飛行機が舞ったり、持ち時間をオーバーした講演を係の少女が情け容赦なく断ち切ったりする素敵な光景がみられるのですが、今回はコロナ禍によりオンラインでの開催となりました。

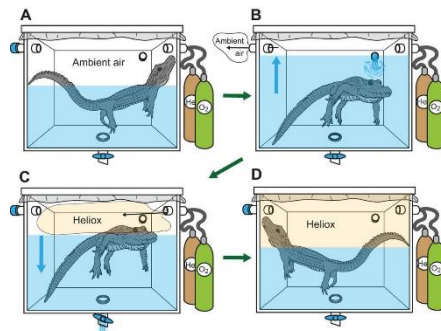
2020年度は京都大学霊長類研究所の西村剛准教授らの日・米・オーストラリアの研究チームが「ヘリウムを吸ったワニの鳴き声はどう変わるのか」という研究によって「音響学賞」を受賞しました。日本人の受賞は14年連続となるそうです。

研究の概要は…

音響学賞 「ヘリウムを吸ったワニの鳴き声はどう変わるのか」

この研究は、世界で初めてワニの発声原理を調べたものです。実験方法として、ワニを空気中とヘリウム中で鳴かせて、その声の高さを比べます。ヘリウム中では音速が空気中よりも速いため、波長が同じ音でも、周波数上がり、高くなります。ヘリウムを吸うと声が高くなる現象が知られていて、これは「ドナルドダックボイス」と呼ばれます。しかし、物体を叩いて出すような音の高さは変わりません。ヘリウム中ではリコーダーの音は変わりますが、シンバルの音は変わらないそうです。このことから、もしもワニが(器官を叩いたりするのではなく)声帯に類する器官を使って鳴いているならば、ヘリウム中では鳴き声の周波数が変わるといふ仮説により実験を進めたそうです。

その結果、ワニもヘリウム中では甲高いドナルドダックボイスで鳴くことが分かり「ワニは声帯のような器官を使って鳴いている。人間と同じ発声メカニズムを有している」と結論付けました。



「へえ～そうなんだ！」とワクワクさせられる研究です。まさにイグノーベル賞「人々を笑顔に、そして考えさせてくれる業績」であると感じました。

物事の真相・価値・在り方などを深く考えて、すじ道をたどって明らかにしていくことを「探究」と言います。このことから「学ぶ」ということは「探究」であるとよく言われます。さらに「探究」とは、試行錯誤、創意工夫しながら熱中することであるとも言われています。

「なぜなんだろう?」「どうしてなんだろう?」ということをもそのままにせず、「探究心」を働かせて生活すると・・・「探究」は人をワクワクさせる原動力であるとも言われています。

受賞後に京都大学霊長類研究所の西村剛准教授は、今回の研究のきっかけについて「鳥はよく鳴きますよね。は虫類はどうなっているのだろうかと思うわけです。ヘビやカメは鳴かないし、それでワニで実験をすることになったのです」と述べています。そのうえで、イグノーベル賞を受賞したことについて、「この実験はすぐに何かの役に立つわけではないが、おもしろいと笑っていただければそれでいいです」とも話していました。さらに、こうした科学のおもしろさを子供たちに伝えることについて西村准教授は、「学校での理科の勉強は覚えることも理論も多く、難しいかもしれませんが、でも、今回の実験のように『ワニが鳴くから実験するとおもしろそうだ』という、日常の周りのもの、すごく単純な疑問が科学のおおもとだということを知ってほしいです」と話していました。

今、自分の夢中になっていることから「探究」を進めてみる。そうすると毎日がワクワクした生活になるのではないのでしょうか。 さあ、今日から「探究」してみませんかあ

## 生徒会役員立候補者立会演説会・選挙

コロナ禍において今年度は演説会と選挙をオンラインで実施しました。選挙運動期間中は、給食の時間などを利用して放送だけではなく、オンラインでも選挙運動を展開しました。当日の立会演説会においては、立候補者・応援者ともに演台に立った全員がたいへん立派な態度で臨んでいました。演説では、先輩たちが築いた良き伝統を引き継ぐとともに、新たな生徒会活動に向けての抱負も述べられており、これからの活動が大いに期待できる演説の内容でした。今回の取組を通して、生徒の発想力、適応力、実践力から、これからの社会を担っていく力が着々と生徒たちに備わってきていることを実感することができました。



### ＜遠隔授業で「中学生の社会参画」について＞

生徒会役員選挙前には、渋谷区選挙管理委員会の方にオンラインで「選挙」および「社会参画」について貴重なお話を伺いました。その一部を紹介します。

#### ○選挙について○

皆さんが大人になったとき、「地元のために」あるいは「地域の子供のために」なにか人の役に立つことができないかと思う時があるかもしれません。ただ一人の力では不安だというときには、地域や社会全体を何かの目標に向かせるために「選挙」に参加して、しっかりした「政策」と「行動力」をもった「リーダー」を探してみてください。もちろん自分がリーダーになってやるという気持ちも大切です。どのような選挙でも人の意見に左右されず、自分の気持ちで、しっかりと考えてみるのが大切です。



#### ○社会参画について○

知識を広げ、人脈ができ、そして何より自分の心を豊かにするためにも、商店街のイベント活動に積極的に参加したり、地域の防災訓練、ほかにも様々なボランティア活動に参加してください。



## オータムコンサート開催

9月12日（土）吹奏楽部の日頃の練習の成果を発表するオータムコンサートを本校大体育館で開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒はフェイスシールドを装着してのオンラインでの開催になりましたが、多くの方に視聴していただきました。「カントリーロード」「ブラジル」の合奏でオープニングを飾り、第2幕は1年生によるソロを発表しました。入部して3か月余りですが、緊張しながら精一杯頑張っている姿に感動しました。第3幕の2年生アンサンブルでは「森のカルテット」を演奏し、貫禄のある演奏を披露しました。最後は3年生のソロパートを含めた「CENTURIA」を合奏して終演となりました。3年生が中心となって自分たちで創り上げた唯一無二のコンサートでした。



3年生にとっては、10月8日の渋谷区中学校音楽フェスティバル（出演生徒とその保護者のみ入場可）が最後の演奏になります。





## 令和2年度 前期終業

今年度は、臨時休業からスタートし、オンラインで学校と繋がってはいたものの不安の始業となってしまいました。教員、生徒の力で創り上げたオンライン授業も定着し、今ではさまざまな教育活動の中で使用できるようになりました。コロナ禍は継続していますが、学校の新たな生活様式を生み出していく教員や生徒の姿を応援していただき、ご理解いただいた保護者・地域の皆様方には感謝しております。5月には生徒の参加が叶わず、保護者・地域の皆さん・教職員で行った田植えでしたが、10月の稲刈りは無事2年生が体験することができました。刈った稲は斉藤農園さんで精米していただき11月の給食で全校生徒がいただく予定です。新しいスタイルにはなっていますが、伝統の稲作体験が実施できたことを大変うれしく思っています。

後期からは、制約はあるものの校外学習をはじめ学校行事も実施していく予定です。3年生は、進路選択の時期にも入っていきます。前期を振り返り新たな目標をもって後期も「One Team」で着実に前進していきます。

前期終業式において校長から、身に付けてほしい4つの力について生徒へ話がありました。

- ① まずは自分でやってみる実行力
- ② 仲間と課題解決に向けて協働する力  
(アイデアをたくさん出し、すべてのアイデアを尊重する力)
- ③ さらに良いものを見極める力(やろうと決めた新しいことに対応できる柔軟性)
- ④ 課題が解決するまで粘り強く取り組む突破力

地域社会の担い手となる本校の生徒に付けていきたい力を育成していくために、教職員も日々研究しております。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。



## 生徒表彰

秋の新人大会が始まりました。2年生が中心となって、新チームも活躍しています。

<ソフトテニス部>

●渋谷区中学校ソフトテニス新人大会●

【個人戦】 優勝 苅部智実・大竹葉月 組  
準優勝 荒牧花凜・稲垣美羽 組  
第三位 北山蓮恩・池谷美桜 組



<野球部>

●第2ブロック新宿・目黒・渋谷地区秋季大会●

準優勝 (松本 佐藤 村尾 川村 渡部)

<バドミントン部>

●渋谷区中学校バドミントン新人大会●

【団体戦】 準優勝 (佐藤 名取 浅野 桑原 後藤 日野 赤坂 吉城)

10月の生活目標

**心をひとつに**

目標に向かって団結し、励まし合ってどんな困難も乗り越えよう

10月の安全目標

**電車・バスの乗り降りの仕方や乗車中の正しいマナーを身に付ける。**

## 10月・11月の主な行事予定

10月			11月		
日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	都民の日 眼科検診	1	日	
2	金		2	月	
3	土	土曜日授業 稲刈り(2年)	3	火	文化の日
4	日		4	水	
5	月	QUテスト	5	木	
6	火		6	金	
7	水	前期終業式 安全指導 給食終	7	土	
8	木	秋季休業日始	8	日	
9	金	秋季休業日終	9	月	全校朝礼 安全指導
10	土		10	火	
11	日		11	水	後期中間考査(3年)
12	月	後期始業式 給食始 第Ⅲ期時間割始 運動会練習始	12	木	後期中間考査
13	火		13	金	後期中間考査
14	水	心臓検診(1年)	14	土	土曜日授業
15	木	歯科検診 生徒会専門委員会	15	日	
16	金	第2回進路説明会	16	月	
17	土		17	火	生徒会専門委員会
18	日		18	水	
19	月	生徒朝礼	19	木	
20	火		20	金	
21	水	運動会予行 避難訓練	21	土	
22	木		22	日	
23	金		23	月	勤労感謝の日
24	土	運動会	24	火	笹幡地域挨拶キャンペーン始
25	日		25	水	
26	月	振替休業日	26	木	
27	火	運動会予備日	27	金	笹幡地域挨拶キャンペーン終
28	水	進路相談(3年)	28	土	
29	木	進路相談(3年)	29	日	
30	金	進路相談(3年)	30	月	生徒朝礼 三者面談
31	土		後期もよろしく願っています。		

※行事予定は変更になる場合がございますので、本校ホームページでご確認ください。

※10月7日より新Webサイトが始動しました。 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/sasaduka>